

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度	総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						前回※4	前回※4					
						最終	最終					
道路事業	503	一般国道477号西浦バイパス	四日市市	<p>【全体事業概要】 延長L=0.46km 幅員W=6.0(7.5)m</p> <p>除去踏切 1箇所 主要構造物 函渠 1基</p>	H18	H29	1,917	<p>■費用便益費 B/C=3.3(前回2.0)</p> <p>■その他の効果 ・踏切渋滞や冠水による通行止めリスクが減少し、第一次緊急輸送道路としての機能が強化された。</p> <p>・踏切除去により、線路を挟んだ東西を円滑に移動できるようになったため、宅配等物流効率化、従事者への負担軽減につながっている。</p>	<p>「三滝川ふるさとの川整備事業」と一体性のある調和のとれたデザインとし、土留め壁として環境配慮型ブロックを使用している。</p>	<p>周辺エリアの人口及び世帯数が増加、川原町駅の鉄道乗降客数も増加している(コロナ禍迄)。今後も道路利用者が増加すると考えられ、更なる効果発現が期待される。</p>	<p>一般国道477号西浦バイパスの意見として事業箇所周辺の2,043世帯へアンケートを配布するとともに、WEBアンケートを実施した。また、利便性向上の視点から、関係機関へのヒアリングを実施した。住民アンケートは、1,008通の回答が得られた。WEBアンケートにおいては、416名の方から回答が得られた。地域住民の約65%、道路利用者WEBアンケートでは約71%が満足と回答している。</p>	<p>アンダーパスを自動車を通る際に大きい音がするため、グレーチングを蓋に替える等対策をしてほしい。 →対応方針:騒音については、ボルトの緩みが確認されたため、速やかに締め直しを行った。今後も、日々のパトロール業務の中で適切に維持管理を行い、騒音防止に努めていく。</p>
					H29	1,871	<p>【事業目的】 バイパス整備により、自動車交通の円滑化・安全な交通機能の確保</p>					

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度 総事業費		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						前回※4	前回※4					
						最終	最終					
街路事業	510	近鉄名古屋線河原町駅付近連続立体交差	四日市市	【全体事業概要】 延長 L=460m 除去踏切 N=4箇所	H18	H29	10,565	■費用便益費 B/C=1.4(前回1.5) ■その他の効果 ・近隣の公園が防災公園として整備され、河原町駅前には駅前広場が整備された。また鉄道の高架下には防災倉庫や駐輪場などが整備され、安心して暮らせるまちづくりが進んだ。 ・鉄道の高架化により往来がしやすくなり、東西地区の連携強化や新たな交流が図られている。 ・物流会社において、踏切の除去により、効率的な配送エリアの設定が可能になった。線路を挟んだ東西を円滑に移動できるようになったため、宅配等の物流効率化、従事者の負担軽減につながっている。	連続立体交差事業に合わせて駅前広場・公園整備が進み、緑ある憩いの場が創出された。	周辺エリアの人口及び世帯数が増加、川原町駅の鉄道乗降客数も増加しています(コロナ禍迄)。今後も道路利用者が増加すると考えられ、更なる効果発現が期待される。	近鉄名古屋線河原町駅付近連続立体交差事業の意見として事業箇所周辺の2,043世帯へアンケートを配布するとともに、WEBアンケートを実施した。住民アンケートは、1,008通の回答が得られた。WEBアンケートにおいては、416名の方からご回答が得られた。地域住民の約79%道路利用者WEBアンケートでは約70%が満足と回答している。 また、利便性向上の視点から、関係機関へのヒアリングを実施した。以下は関係機関の意見である。 ・踏切の除去により、時間短縮とともに安静な救急搬送が可能となった(四日市市消防本部) ・輸送効率が向上し、特に夕方の宅配・集荷の時間が短縮された(運輸事業者) ・踏切事故や異常検知のリスクが解消され鉄道の定時運行が向上した(近畿日本鉄道) ・線路をまたいだ往来がしやすくなり、地区間の交流機会が増えた(自治会) ・通学路の安全性が向上した(小学校)	・踏切除去により車両の速度が上昇し、危険に感じる ・駅前ロータリーを利用せず路上で送迎の駐停車があり、歩行者見えづらく危ない →これらのことについて、今後関連機関と協議を行い、対応を検討していく。
				【事業目的】 踏切除去及び道路拡幅による、自動車交通の円滑化・安全な交通機能の確保								

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題	
						総事業費	総事業費						
						前回 ^{※4}	前回 ^{※4}						
						最終	最終						
道路事業	504	一般国道167号 鷺方磯部BP	志摩市	<p>【全体事業概要】 延長 L=7.65km 幅員 W=6.5(12.25)m</p> <p>主要構造物 トンネル工 1本 橋梁工 5橋</p>	S61	H29	14,565	<p>■費用便益費 B/C=2.3(前回1.9)</p> <p>■その他の効果 ・救急搬送時間が約5分短縮(約55分→約50分)し、救命率の向上に繋がっている。 ・鷺方市内の低地部では津波浸水被害も想定されることから、地域の高台を通過するバイパスを計画することにより被害発生後の避難や物資輸送などの防災機能を強化。</p>	<p>施工中の処理として、降雨により濁水が発生しやすい土質であったため、そのまま濁水を流下させないよう沈砂池の設置や汚濁防止フェンスを設置した。また、事業による環境の変化については、法面に植生工を施工することで周辺環境との調和を図った。</p>	<p>平成28年に伊勢志摩サミットが開催され、志摩市への入込み客数は増加傾向にある。 令和2年以降はコロナウィルスの影響により減少しているが、ヒアリング調査等から訪問者の多くが自動車を利用しており、道路事業の有効性が確認された。</p>	<p>一般国道167号鷺方磯部バイパスの意見として志摩市在住の3,000人の住民へアンケートを配布するとともに、WEBアンケートを実施した。また、利便性向上の視点から、関係機関へのヒアリングを実施した。住民アンケートは、1,550通の回答を得られた。WEBアンケートにおいては、315名の方から回答を得られた。地域住民の約97%、道路利用者WEBアンケートでは約96%が満足と回答している。</p>	<p>一般国道167号鷺方磯部バイパスに接続する土橋交差点の朝夕の交通渋滞が残存している。 →対応方針:右折滞留長不足に伴う滞留末尾車両のはみだしが後続車両に対し進行阻害を引き起こしていたため、右折滞留長の延伸工を実施した。引き続き経過観察を行うとともに、渋滞緩和に必要な施策は関係機関と協議のうえ検討を行う。</p>	
						H29	14,770						<p>・志摩市中心部(鷺方駅周辺、賢島)と志摩町方面を目的とする交通が現道とバイパスに分散が図られたことで、鷺方駅周辺の賢島口交差点(主要渋滞箇所)の交通渋滞も緩和され、周遊観光の利便性が向上。</p>

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初						
						最終	最終						
水産基盤整備事業	502	桃取地区	鳥羽市桃取町	<p>【全体事業概要】</p> <p>事業期間: H20年度～H28年度</p> <p>全体事業費: 1,878百万円</p> <p>道路工</p> <p>延長: L=1,950m</p> <p>幅員: W= 5.0m</p> <p>(車道幅員 4.0m)</p>	H20	H26	1,200	<p>舟越漁港から、海況状況に左右されない桃取漁港への効率的な運搬が可能となる関連道の整備をすることで、水産物の流通及び漁業用資材の輸送を合理化し、輸送時間の短縮による水産物の品質向上やコストの低減、安心安全かつ安定的な水産物の供給網の構築、漁村環境の改善を図られる。</p> <p>【事業効果の評価】</p> <p>B/C=1.38</p>	<p>当事業において影響を受けると予測された植物及び両生類に対し保全対策を実施したため、環境影響による絶滅等の影響はない。影響を受けると考えられた希少動植物において、その影響を受けない場所へ移植および放流を行った。</p>	<p>・漁船隻数は減少傾向にあるが、全国、三重県と比べ減少傾向は緩やかである。</p> <p>・漁業生産額は全国、三重県と同様に減少傾向である。</p> <p>・漁業就業者数の減少、高齢化が進んでいるが、全国、三重県と比べ就業者数の減少の割合は緩やかである。</p> <p>・全国、三重県と比べ、漁業就業者の60歳以上の高齢者の割合は、H25年まで低く推移していた。</p>	<p>・関連道の利用により水産物の輸送時間が短縮され、漁業活動の効率性、品質が向上した。</p> <p>・県道759号の利用時と比べS字カーブや走行時間が減少し、水産物の荷崩れが少なくなった。</p> <p>・関連道整備前に水産物の運搬等に活用していた県道はS字カーブが多く、道幅も狭いため事故が多く発生していたが、関連道は道幅が広く走行の安全性が向上した。</p> <p>・島民の日常生活において、関連道の利用により、走行時間が短縮され、利便性が向上した。</p>	<p>・関連道の清掃を鳥羽磯部漁協で実施しており、現状補助金がなく、清掃道具の購入費が負担となっていると意見があった。今後も持続的に利用しやすいよう、維持管理方法について検討する。</p> <p>・漁業活動のみならず、住民にとっても重要な道路となっているため、より利便性を向上させるための方策を検討する。</p>	
				<p>【事業目的】</p> <p>水産物の流通及び漁業用資材の輸送を合理化し、輸送時間の短縮による水産物の品質向上やコストの低減、安心安全かつ安定的な水産物の供給網の構築、漁村環境の改善を図る。</p>		H28	1,878						

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り簡条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		総事業費	事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初						
						最終	最終						
農業農村整備事業	501	中南勢・中南勢2期	松阪市、多気町、明和町	【全体事業概要】 【施工延長】 L=10,996m ① 中南勢 L=4,124m ② 中南勢2期 L=6,872m	H11	H26	7,703	【事業の効果】 広域農道が整備されたことで、農産物運搬時の品質を守ることによる効果、農産物を運ぶ車両の大型化等により運搬の効率が向上し、走行経費の低減や人件費が削減される効果があります。 また、間接的効果としてヴィンソン内の産直市場への農産物運搬、ウッドピア松阪への木材運搬において、広域農道を利用することで運搬時間が短縮されるため走行経費の節減効果も得られています。 【事業効果の評価】 B/C =1.53	【工事施工】 トンネル工事等で発生した岩を道路盛土に利用や、トンネルからの湧水を補給的な農業用水として利用できる構造としたことにより、建設廃棄物の削減と土砂等の運搬を減らすことで、環境負担の軽減に努めました。 【アンケート結果】 自然環境面への影響については、農道の悪い影響の中で交通事故などの危険性の回答が大半で、「自然環境が悪くなった」「景観が悪くなった」は少数であり、大きく環境への影響は及ぼしていないと考えられます。	【農家戸数】 松阪市の農家戸数減少率(46.1%)は県全体の減少率(45.2%)と近く、農家戸数の減少は避けられない状況となっています。 【作付け状況】 本地域の耕地面積は平成23年度から4.4%減少しました。県全体の6.0%減少と比べると減少率は低い傾向にあります。 松阪管内で生産されている主要野菜などについては、多気町ではキャベツ、白菜、イチゴも作付けが増えています。管内全体のイチゴについては、31.2%と県内の1/3弱のシェアを維持しています。	【アンケート調査の概要】 中南勢・中南勢2期地区周辺住民675戸を対象にアンケート調査を実施して、415戸から回答をいただきました。 【アンケート結果】 広域農道が整備されたことで、「農地への通作や農産物の輸送が便利になった」「通勤・通学、レジャーや娯楽施設への走行距離や時間が短縮された」「緊急車両等の走行時間が短縮され、緊急時の安全性が向上した」など全体の93%の方から効果があったと回答をいただきました。 このことから、本事業による効果を確認することができました。	【今後の課題】 ・広域農道が整備されたことで、交通事故の発生を危惧した交通安全施設等の設置や道路沿いの草や枝の伐採など道路維持管理に関する意見がありました。また、今後、施設の老朽化に伴い修繕が必要となつてきます。 【対応事項】 ・道路管理者である市町に情報共有していくとともに、今後の維持管理等において将来を見据えた事業制度の情報提供を行っていきます。	
				H28		7,794							

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。